

て息をひきとりました。

### 会津から横浜へ

かし子の父は、松川勝次郎まつかわかつしろうという会津藩の武士でした。武士といつても身分は低く、隠密おんみつをしていたので、戦いが終わった後でも、烏田と名前を変えたりして身をかくしていました。

母をなくし、祖母と妹は親類の家にあずけられ、かし子は、ひとりだけ横浜よこはまの大川甚兵衛おほかわじんべという生糸きいとの貿易商人ぼうえきしょうにんの家にもらわれていきました。そのころの会津藩は、賊軍ぞくぐんといわれ、戦いに敗れた藩士はんしたちはよい仕事につくこともできず、苦しい生活をしていました。まして、隠密おんみつをしていた父が、また身をかくしてしまつたかし子の家では、働き手もなく、みんなばらばらになつてしまつ